



国連環境計画・金融イニシアティブおよび国連グローバル・コンパクトと連携した投資家イニシアティブ

責任投資の ビジョン

責任ある投資家

持続可能な市場

すべての人々のための真の豊かな世界

www.blueprint.unpri.org

@PRI_News – #PRIBlueprint

本レポートは A Blueprint for Responsible Investmentの日本語参考訳です

PRIについて

「向こう10年間の私達の目標は、責任ある投資家と共に、すべての人々のための真の豊かな世界の実現に向けた持続可能な市場を目指し、協働してもらうことです。」



PRIは、責任投資における 世界の主導的な提唱者です

責任投資のための6つの原則は、ESG課題を投資実務に組み込むために可能な行動のメニューを提供する、自主的かつ志向的な投資原則です。この原則は、国連（UN）の支援の下、投資家のために、投資家によって策定されました。この原則は、世界の過半数を占める機関投資家から賛同と署名を得ています。

PRIは、当該原則の実施における、署名機関の国際的なネットワークを支援します。私達の署名機関は、受益者と顧客の最善利益のために行動する長期投資家として、ESG要素が運用実績に与える貢献と、投資が広範な金融市場で果たす役割、そしてそれらの投資が環境と社会全体に与える影響について、理解しようとしています。

向こう10年間の私達の目標は、責任ある投資家と共に、すべての人々のための真の豊かな世界の実現に向けた持続可能な市場を目指し、協働してもらうことです。

PRIのミッション

「私達は、以下のことを信じています。すなわち、経済効率性が高く、持続可能なグローバル金融システムは、長期的な価値を創出する上で不可欠であること。そして、そのようなシステムは、長期的で責任ある投資に対して報いるものであり、環境と社会全体に恩恵を与えるものであることです。」

PRIは、原則の採択と原則の実行における署名機関間の相互協力を促すことによって、また良好なガバナンスや統合、および説明責任を育むことによって、さらに持続可能な金融システムの実現にとって障害となる、市場慣行や市場構造、規制の中に存在する課題に取り組むことによって、持続可能なグローバル金融システムの実現のために努力してゆく所存です。」

責任投資に関する 6つの原則

1. 私達は投資分析と意思決定のプロセスにESGの課題を組み込みます。
2. 私達は活動的な（株式）所有者になり（株式の）所有方針と所有慣行にESG課題を組み入れます。
3. 私達は、投資対象の主体に対してESG課題について適切な開示を求めます。
4. 私達は、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います。
5. 私達は、本原則を実行する際の効果を高めるために協働します。
6. 私達は、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します



ビジョン

responsible/責任ある、形容詞および名詞 (rɪˈsponsəbl)

何かの世話をしよう指名されている。何かに関して他者に対する義務を負う。行動に道徳的な責任を負い、合理的な行動ができる。何かに関して称賛(または非難)を受けるに値する。義務または責務の遂行能力があり、信頼でき、信用に値し、思慮深い。慣習または活動については、道義にかなったまたは倫理的な方法で実行する。

sustainable/持続可能な、形容詞 (səˈsteɪnəbl)

長期的に維持や継続ができる。有効または正しいこととして、あるいは真実として支持できる、または擁護できる。

prosperous/繁栄する、形容詞 (ˈprɒsp(ə)rəs/

盛況である。繁栄する。常に成功を取め続ける(特に経済面で)。人やコミュニティについて、身体的、精神的、および社会的に良好な状態で、健康かつ幸福なことを意味する。



向こう10年間、PRIは以下の分野に 焦点を当てます。

■ 責任ある投資家

私達は私達の中心的な取り組みである長期的な価値の追求をする責任ある投資家をリードすること、またインベストメント・チェーン全体の協調を強化、掘り下げ、拡大をしていきます。

- アセット・オーナーの影響力を強化する。
- 投資家によるESG課題の組み込みをサポートする。
- アクティブ・オーナーシップのコミュニティを育成する。
- 説明責任強化のためにリーダーシップを発揮する。
- 責任ある投資家への啓蒙活動を行う。

■ 持続可能な市場

私達は投資家が活動する市場の持続不可能な側面に対処し、責任ある投資家と受益者が必要としている、経済効率性が高く持続可能なグローバル金融システムを実現します。

- 持続可能な金融システムへの障壁に挑む。
- 市場に意味のあるデータを普及させる。

すべての人々 のための真の 豊かな世界

私たちは現在と将来の世代のための真の豊かさ
と包括的な社会に貢献できるような投資活動を
署名機関ができるように支援します。

- 気候変動に対する対策を支持する。
- SDGsが実現される世界を目指す。

責任をもつ

「ここに提示されている
ビジョンは、最終的に署
名機関が自らの受益者、
暮らす社会、および将来
の世代のために、長期的
な価値を生み出す能力を
構築します」

Martin Skancke

PRI 会長

責任投資の向こう10年間にわたるビジョンを提示できることを嬉しく思います。

責任投資運動における世界の代弁者としてPRIが確立され、10年以上が経過した今、向こう10年間のPRIおよびより広範な責任投資コミュニティの方向性について、私達のビジョンを設定する時が来ました。

私達の課題は、責任ある投資家であることの真の意味をこれまで以上に深く掘り下げ重点的に取り組み、そうすることで、すべての投資家の責任投資に関する手法が根本的かつ包括的に一つの概念となるように組み込むことです。

これに成功すれば、世界でも最大規模の投資家達がもたらす結集した力と影響が、投資業界の枠組みを超えてより広範な金融市場に共鳴し、私達の暮らす世界を豊かにします。

投資家の責任は、受益者の最善利益に合致した資金運用を行うことであり、単に投下資本に対して収益をもたらすことだけには止まりません。それは、受益者が充実した人生を送ることができる世界の実現に向け、持続可能な開発を支持するように資金が投資されるよう全力を尽くす責任を含みます。そして、投資機関が受益者に対して負う責任と同様に、私達は皆、将来の世代が受け取るに値する、共に支え合える真の豊かな社会(これには健やかな自然環境が不可欠です)を未来へと伝える責任を個人個人が負っています。

長期的価値の創造に寄与する環境、社会、ガバナンス (ESG) の各要素については、多くの方々によく理解されていますが、まだご存知ない方も多いため、私達は引き続き説明を続けていく必要があります。私達は投資家が活動する多様な状況、つまり市場、法域、個人のスタイルは大幅に異なることを認識する必要があり、これに必要とされる解決手法全般を私達の活動で支援しなければなりません。

また、責任投資が広く実施されるようにするための構造、規制、インセンティブを備えた金融システムに関して、障害を明確化して対処してゆく必要もあります。そのようなシステムがない限り、投資家は、今後も順調に前に進めないでしょう。

最終的に、私達の運動の中核をなす作業は、私達と将来の世代が共有する実世界での持続可能な開発に影響を与えるに違いありません。署名機関が投資解決手法において、エネルギー効率性、労働条件、取締役会の多様性といった課題の組み込みに成功することは、受益者への収益を増大させるという点だけでなく、社会全体として見た場合、真に豊かな世界に寄与する点も考慮すべきです。

PRIは、国連主導の立ち上げから僅か10年余りで、これらの変化を推進する独自の地位を確立しています。PRIの署名機関は、世界の運用資産の大部分を管理し、他に類を見ない集合的価値をPRIにもたらしており、私達は、それに見合った活動を展開していく必要があります。これには、私達自身が焦点を当てられる対象となる事が含まれます。すなわち、私達は強みを生かして比較優位を発揮できる分野での問題解決を求め、競争ではなく、協働することを求め、そして私達の進捗状況を評価できる測定基準を策定します。

ここに提示されているビジョンは、最終的に署名機関が自らの受益者、暮らす社会、および将来の世代のために、長期的価値を創造する能力を構築します。このビジョンの策定にご尽力下さった署名機関の皆様感謝し、皆様の今後の責任投資推進への取り組みを称賛すると同時に、来る将来において、これまで以上の高みへと導いて下さるようお願いいたします。

すべての人々の真の豊かな世界を実現する

「今こそ行動を起こしましょう。私達にも署名機関にも体制が整っています。世界の人々にはその成果を受け取る権利があります。」



Fiona Reynolds

PRI マネージングディレクター

PRIのミッションは、長期的価値の創造に焦点を当てた持続可能なグローバル金融システムを実現することです。これは私達がこのようなシステムが、市場参加者に金銭的に報いるだけでなく「環境と社会全体に利益をもたらす」と確信しているためです。このビジョンでは、この目標に向け署名機関による原則の導入を支援する私達の中心的な役割を説明しています。

責任ある投資家が実施している取り組みは、2006年の原則の策定から大きな進展を遂げていますが、新しい層へ働きかけを行ったり、既存の取り組みを強化したりすることにより、発展の可能性がまだ大にあると考えています。

向こう10年間にわたり、私達はアセット・オーナーが影響力を強化できるよう、より良い方法を検討していきます。それらには、投資判断におけるESG事項の考慮、企業、政府、政策立案者やその他のステークホルダーへの適切な関与、運用会社やコンサルタントとの協働、組織全体へのESG事項の組み込みなどが含まれます。私達は、私達の署名機関による責任投資の取り組みを可能にして強化する政策や法令、業界基準などを今後も後押しします。また、私達は、リーダーシップを発揮し、必要に応じて協力を要請し、署名機関の取り組みについて、適切に評価できるような体制を整えて参ります。

そこから、私達は、持続可能な金融システムに取り組む私達の活動に関する新しい体系的な解決手法を育てていきます。責任ある投資家は、長期的価値の追求に役立つ金融システムを必要としています。それは長期投資を奨励し、個々の投資家では対応が難しい社会的・環境的な影響を考慮し、最終受益者の利益のために機能するシステムです。

こうした取り組み最終的には、受益者が暮らす社会や環境自体に具体的に現れ、次世代へと受け継がれます。責任ある投資家の取り組みと実世界の持続可能な開発の間にあるつながりを強化するために、私たちの活動を国連の持続可能な開発目標(SDGs)に結び付け、署名機関も同様にできるようにします。

これによって、私達は、健康で自然な環境の中で共に支え合える真の豊かな社会という受益者が切に求めようとする世界の実現に向けた投資家の寄与を理解し、評価できるようになります。

促進すべき特定の行動や結果は存在しないため、私達は、多様性のある世界の投資コミュニティの様々なニーズを反映した一連の解決手法の展開に向けて、努力する必要があります。例えば、気候変動に関する私達のこれまでの活動の中で、私達は、投資引き揚げや資産再配分、グリーンボンド投資、エンゲージメント、政策関与等を含む行為を署名機関が実行に移すことに関して研究し、支持して参りました。

大規模で複雑な問題に関しては、個々の問題の細部までつぶさに観察した上で策定した複数の解決策を準備し、その中から選択できる事が必要です。

私達は引き続き気候変動に特に注意を払います。署名機関は、直面しているESG課題の中で気候変動を最優先すると繰り返し述べています。私達は政府、企業、投資家らの気候変動に対する対策を支持し、署名機関に広範な解決手段と解決手法を提供し続けることによって、最も大きな影響を与えられる方法で対応する能力を署名機関に構築します。

全世界の各国政府が一体となり、世界のための持続可能な目標に関する有意義かつ大規模な合意に初めて達しました。これには持続可能な開発目標(SDGs)を通して貧困を終わらせ、教育を改善し、天然資源を保護すること、およびパリ協定を通じた二酸化炭素の排出量ゼロが含まれます。向こう10年間のPRIの役割は、このような未来を実現すべく、自身にできる役割を果たそうとする投資家と協働することです。

ここで提示されているビジョンは、私達が、それを実行に移していく上での指針となります。10周年の節目は、PRIが与えたこれまでの影響を評価する機会と、途上にある署名機関と広範にわたって協議する機会、そして、現時点でまだ責任投資コミュニティに参加していない組織や個人がPRIの果たせる役割について理解する機会となりました。

世界が直面する可能性における最大のリスクは、責任投資なくして対応できません。今こそ行動を起こしましょう。私達にも署名機関にも実施する体制は整っています。世界の人々にはその成果を受け取る権利があります。

ビジョンの策定

署名機関にとって重要なイニシアティブを特定するにあたり、PRIとその署名機関がもたらすことのできる優位性を考慮し、行動を起こすための最良の立ち位置を確認しました。

- PRIの署名機関の基盤は、世界中のアセット・オーナー、運用会社、サービスプロバイダーが一体となったグループです。PRIに署名した投資機関の運用資産は、世界中の機関投資家が運用する資産の大半を占めています。
- 署名機関とPRIのスタッフを合わせ、私達は十分な知見を蓄えています。
- 私達には、投資家、企業、政府、学者らを集結させる独自の力があります。私達には、国連グローバル・コンパクトおよび国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) という2つの共同設立パートナーを通して、国連と強い結びつきがあります。

PRIは世界が直面する課題を解決することができません。成功するかどうかは、署名機関が行動を起こせるようにできるか否かにかかっています。



私達の向こう10年間のビジョンに含まれる新たな取り組みを決定するにあたり、それらの取り組みが署名機関にとって重要な問題に対処するものであるかどうかを問いました。

PRIの10周年を記念し、私達は2016年に一連の活動を通じてこれまでの進捗を見直し、向こう10年間でPRIおよびより広範な責任投資コミュニティがどのように前に進むべきかについて、野心的、しかし達成可能なビジョンを策定しました。これには、全世界の署名機関およびステークホルダーへのアンケート調査、独立した評価体制、ならびに主要な署名機関との協議が含まれます。その結果、2017年、向こう10年間の私達の活動の方向性を設定するこのビジョンの策定に至りました。

私達は、このビジョンを支える3か年戦略と年次作業プログラムについて署名機関と協議を続けることを約束します。私達は、すべての行動の意思決定においてミッションに基づいて律され、体系的かつ真剣にミッションに焦点を当てます。そして、私達の活動が例外なく署名機関に確実に価値をもたらすことができるようにします。

約
2,000人個人



520を超える組織(全署名組織の約50%)
から地域の協議ワークショップ
やウェビナーに参加した人数

以上
500

件以上の、責任投資原則の説明責任および
多様性に関する質問への書面回答

約
200件

責任投資原則の持続可能性、金融システム、原則、
影響に関する質問への書面回答

**ステークホルダーの
強力な関与**

120+ は
未署名機関

PRIが、策定当初の10年において与えた影響について[独立した評価](#)から以下の推奨項目が確認されました。



目的と高い目標
を明確にする



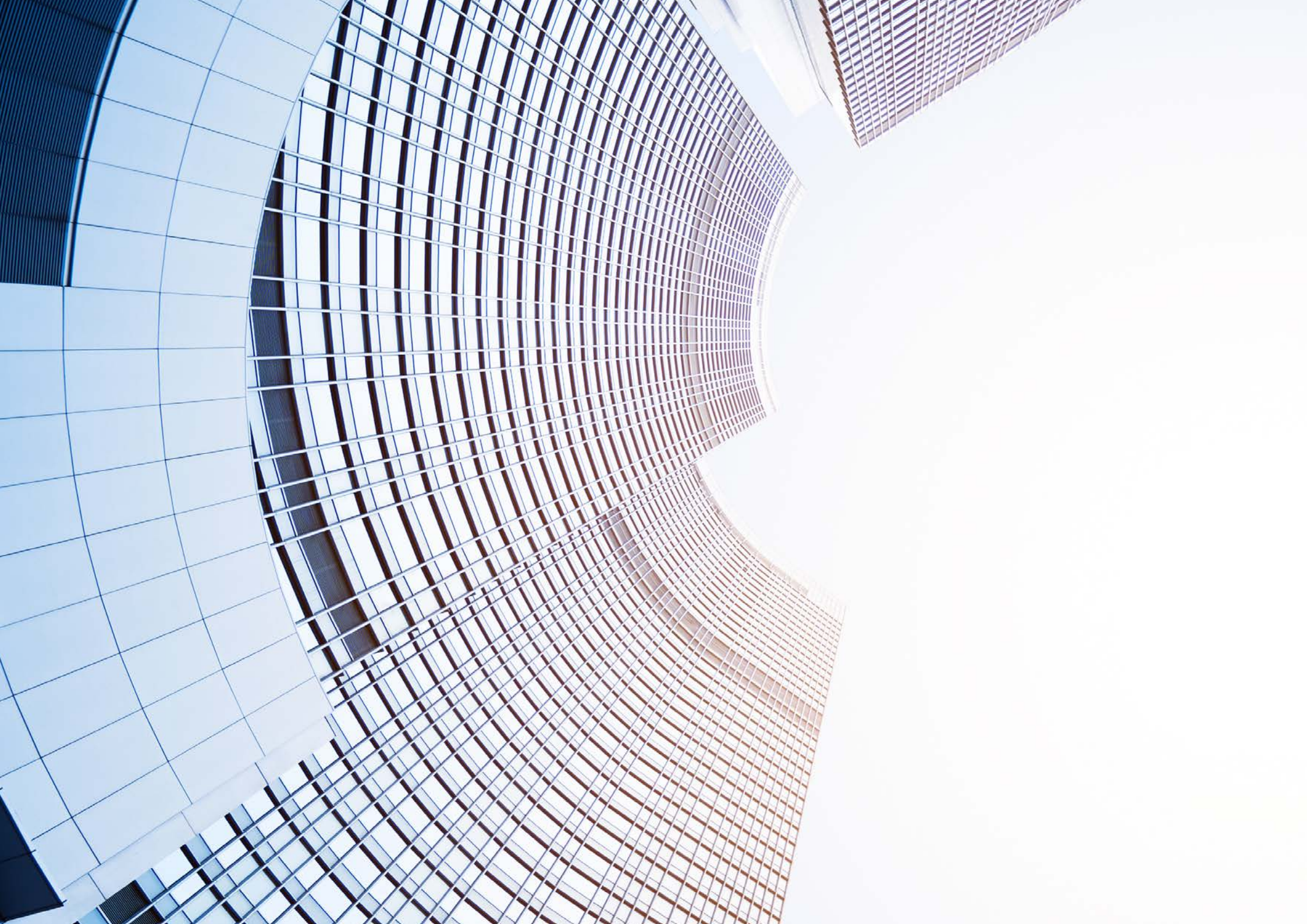
焦点と付加価値
を強化する



説明責任プロセス
を改善する



実世界への影響
を測定する



The background features a low-angle shot of modern skyscrapers with glass facades. A large, semi-transparent blue rectangle is overlaid on the right side of the image, serving as a backdrop for the text.

私達の 取るべき行動

アセット・オーナーの影響力を強化する

私達は以下を実行します。

- 戦略、政策、受託者能力などの領域から資産配分を含むポートフォリオ・制度レベルの意思決定にいたるまで、組織全体でのESGの組み入れに挑戦します。
- 受益者への責任を果たすために、アセット・オーナーが運用会社やコンサルタントなどを効果的にモニタリングできるようにします。
- 長期的なグローバルトレンドが明日の投資環境をどのようにして形成するのかを示します。
- アセット・オーナーの受益者への義務は、投資のリスク・リターン特性のみならず、受益者の暮らす世界に利益をもたらす意思決定をも含むようにします。

原則4

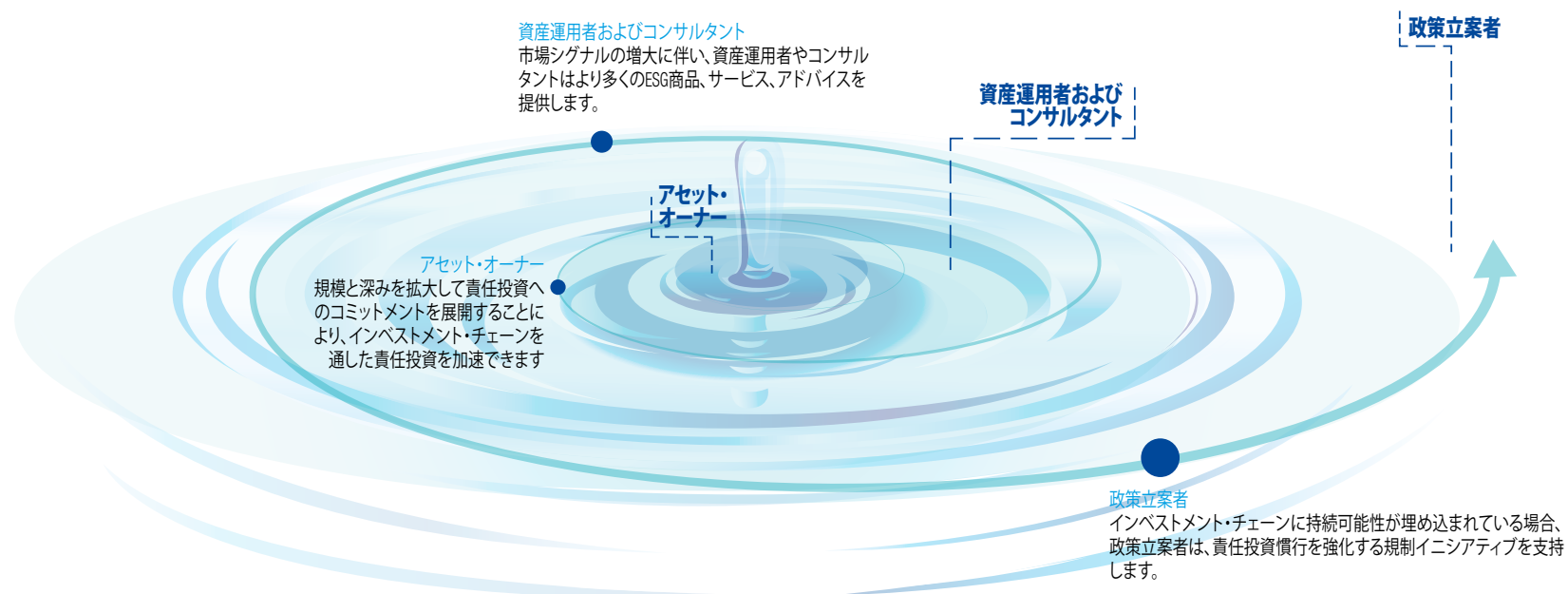
私達は、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います。

責任ある
投資家

インベストメント・チェーンを率いるアセット・オーナーには、巨大なパワーと影響力があります

アセット・オーナーは市場の方向性を決めます。これはアセット・オーナーが運用会社に与えるマンドートによって、世界最大の資金プールの投入対象が決まるためです。2020年代以降の受益者への義務を果たすために、アセット・オーナーには、自らの投資が実体経済と受益者の暮らす社会に与える影響を認識する、堅牢な投資解決手法が必要となります

アセット・オーナーの影響の乗数効果 - 資産運用者、政策立案者およびその先にまで及びます



投資家によるESG課題の組み入れをサポートする

私達は以下を実行します。

- 上場株式や社債・国債など、ESGの組み入れが十分に行われ、浸透率の高い資産クラスにおいて、洞察的知識や実務事例の深みを増すようにします。
- コモディティ、ヘッジファンド、国際機関債、資産担保証券などESGの組み入れがまだ殆ど行われていない新しい資産クラスについて基礎を構築します。
- 既存のESG課題のみならず、新たに登場してくるESG課題に対しても、署名機関の認識と対応を促進します。

原則 1

私達は、投資分析と意思決定プロセスの中にESGの課題を組み込みます。

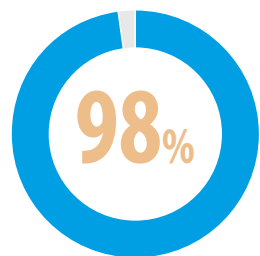
責任ある
投資家

環境、社会、ガバナンスの課題は、企業、セクター、 地域、資産クラス全般にわたりの投資パフォーマンス に影響を与えます

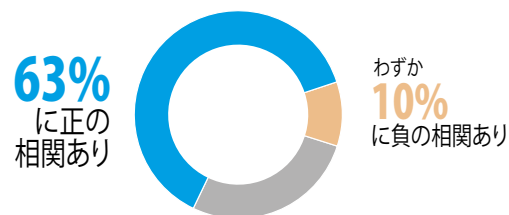
根拠の数
2,000+
1970年以
降の調査



原則の策定以来、投資業界はESG要素を投資の意思決定プロセスの一部とすることに、大きな進展を見せています。企業の多種多様な資産全体にESG課題が深く体系的に組み入れられていることは稀であり、まだESG課題に対処していない投資家が着手するのは困難な場合があります。

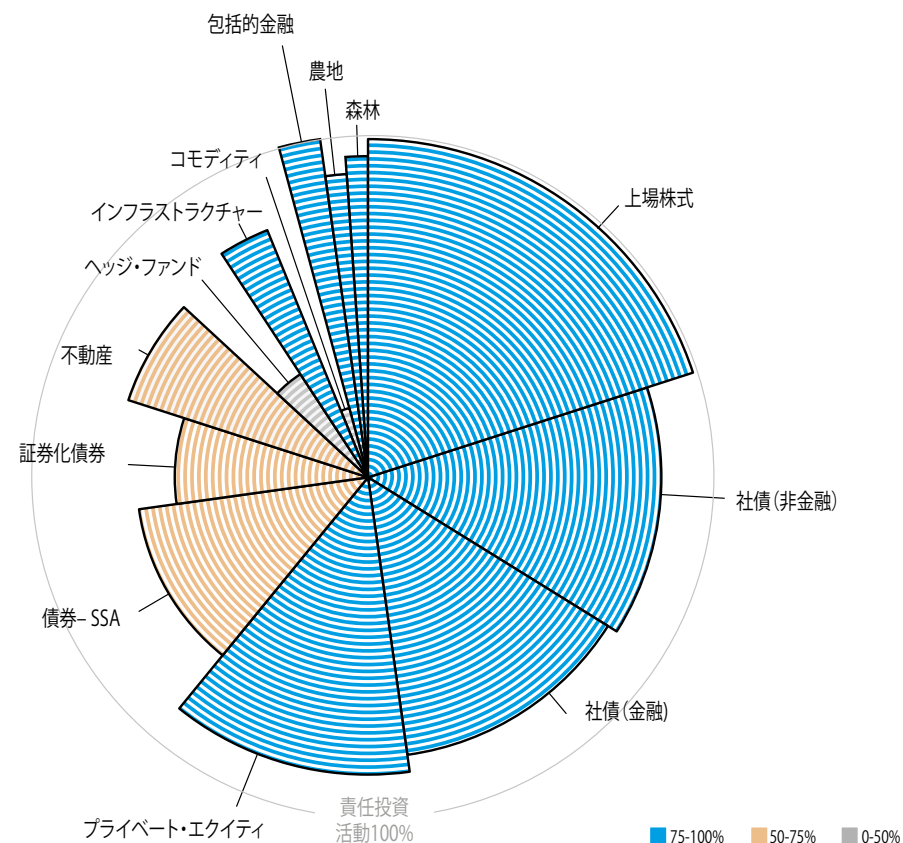


署名した資産運用者のうち、
責任投資慣行
を上場企業の持株に対して適用している割合



企業のESGに関する実行状況と同社の
財務実績との関連性¹

所定の資産クラスに直接投資する資産運用者のうち、その資産クラスでの投資に一定水準の責任ある活動を実施していると報告した割合の内訳



アクティブ・オーナーシップのコミュニティを育成する

私達は以下を実行します。

- すべての資産クラスで積極的な株主としての自身の権利を行使する方法について、署名機関の理解を促進します。
- 投資家の集団としての影響を最大化する協働エンゲージメントを引き続き調整し、協調体制を拡大し、教訓を共有します。
- 責任投資の信念を持って議決権代理行使慣行の支援を促進します
- PRIコラボレーション・プラットフォームを強化し、活動的な株主のグローバルハブにします。

原則2

「私達は活動的な株主になり、(株式の)所有方針と所有慣行にESG課題を組み入れます。」

責任ある
投資家

ESG課題に関与する企業は、その持続可能性、 マネジメント、およびリスク・リターン特性が改 善します。

投資先企業と積極的な関係を築いていない投資家は、経営上の問題をかかえ長期にわたりパフォーマンスの振るわない企業の株式を保有するリスク、および受益者の利益を軽視するリスクを負います。

効果的なエンゲージメントでは、明確な目標とマイルストーンがあり、対話の質を重視し、投資家が議決権代理行使において投資の戦略と政策を遂行します。アクティブ・オーナーシップの成功に極めて重要なのは、投資家が収集した情報をポートフォリオに関する意思決定の際にフル活用するかどうかにかかっている点です。

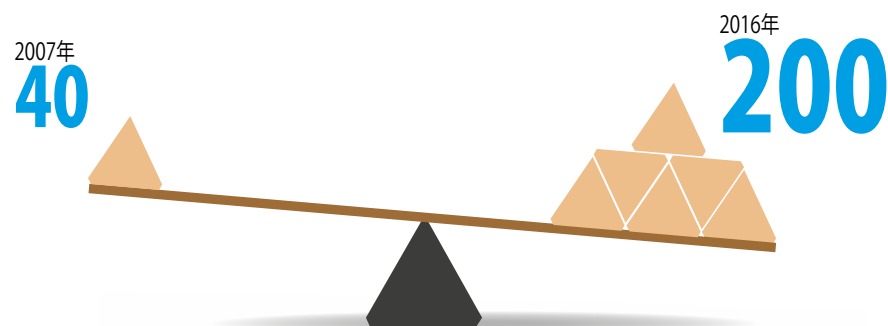
投資家は単独ではなく共同で行動すると、企業への影響が大幅に拡大し、集団での行動は、機関投資家がユニバーサルオーナーとして課題に対処することを可能にします。ユニバーサルオーナーは、巨額の運用資産を多岐にわたり分散投資しており、活動の場である経済・市場全体的を輪切りにした一部（スライス）を所有した状態となっています。

投資家の規模とは、投資家が影響を受け、集団で影響を与えられる側面であり、個々のポートフォリオ企業をターゲットとするこの投資家には影響を与えられない市場・経済の側面です。

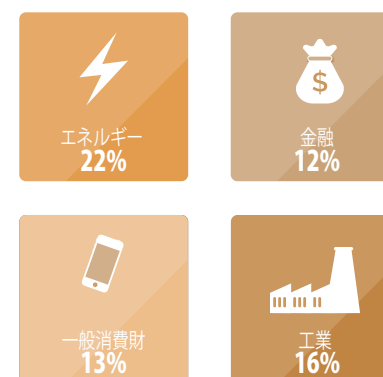
関与と議決権代理行使の加速



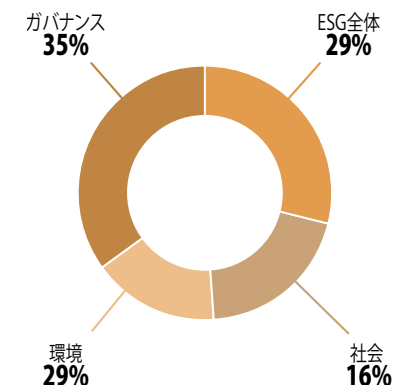
直接または運用会社を通して、投資先企業と定期的に関与していると報告した株主の数



コラボレーション・プラットフォームで最もターゲットとされたセクター



テーマ別コラボレーション・プラットフォーム活動



説明責任を強化してリーダーシップを発揮する

私達は以下を実行します。

- 責任投資のリーダーシップ審議会とアワードを発足し、トップパフォーマーに報い、トップパフォーマーを強調します。
- 最も成功している署名機関の実施内容の例を共有します。
- 署名機関が達成しなければならない活動の最低基準を定義します。
- この基準を満たさない署名機関をモニタリングしてその機関に関与し、2年間基準を満たさない場合は除名します。
- 原則の精神に反する署名機関は除名します。

原則6
「私達は、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。」



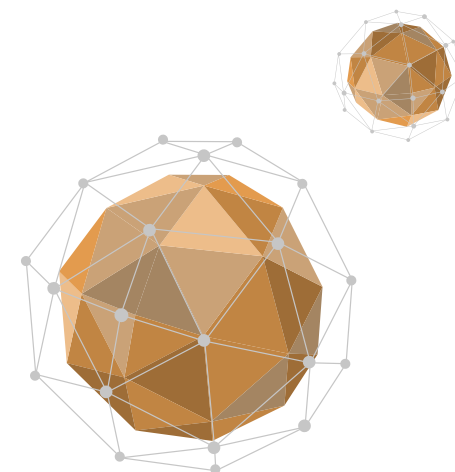
責任ある
投資家

最善を目指した健全な競争と明確な指針が より良い結果をもたらします

私達は、長年業界をリードしてきた投資家を含め、新しく責任投資を開始するすべての方々を歓迎します。その中で、他者がそこから学べるベスト・プラクティスを称賛し、取り組みの成果を強調し現状に甘んじないことが重要です。

原則に署名することによって、署名機関には、評判面（責任投資家としての証明）から実務面（署名機関のみを対象とした）の幅広いベネフィットがもたらされます。受益者は、資金が自分の暮らしたいと望むような世界をサポートするやり方で、長期的リターンを重視して運用されることを再確認できます。

署名機関のステータスが有意義であり、受益者が受け取るべき利益を手にするには、署名機関が署名時のコミットメントに従い行動するようにならなければなりません。強力な説明責任プロセスにより、PRIは、奮闘している署名機関に関与し進歩を支援する機会を見出し、また、署名機関が誠意をもって行動していない場合に対応できるようにします。



責任ある投資家への啓蒙活動を行う

私達は以下を実行します。

- アセット・オーナーの署名機関数を伸ばすべく、全世界でのリクルート活動に注力します。
- 新たな市場と機関にリーチします。これにはアジアの強力な署名機関ベースを確立すること、発展途上市場の署名機関を増やすこと、ヨーロッパ以外では前例のない浸透率を北米で達成することが含まれます。
- 責任投資に新しく着手するアセット・オーナーのためにアソシエートメンバーのカテゴリーを導入し、学習、開発、教育に重点を置きます。
- 責任投資トレーニングの範囲を拡大し、PRIアカデミー提供のコースを正式なものにします。

原則5

「私達は、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。」

責任ある
投資家

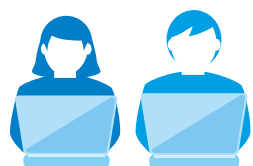
知識を共有し、新しい人々にリーチし、開発を支援することは、すべての人々の利益となります

署名機関が相互につながることと、潜在的な署名機関に手を差し伸べることは、PRIの活動の中核を成します。多数の署名機関は、知識を共有するために他の署名機関と会うことを、PRIコミュニティへの参加の第一理由としています。私達の地域ネットワーク、つまり地域で責任投資のために協働する署名機関のグループは、世界中での責任投資の促進・推進に貢献しており、特に小規模な投資運用セクターを伴う市場では顕著です。

私達はPRIアカデミーを通して正式なトレーニングを提供しています。これはインタラクティブなCFA認定オンラインコースで、ESG課題が企業のパフォーマンス、株主価値、投資の意思決定にどのように影響を与えるかについて学びます。

PRI ACADEMY

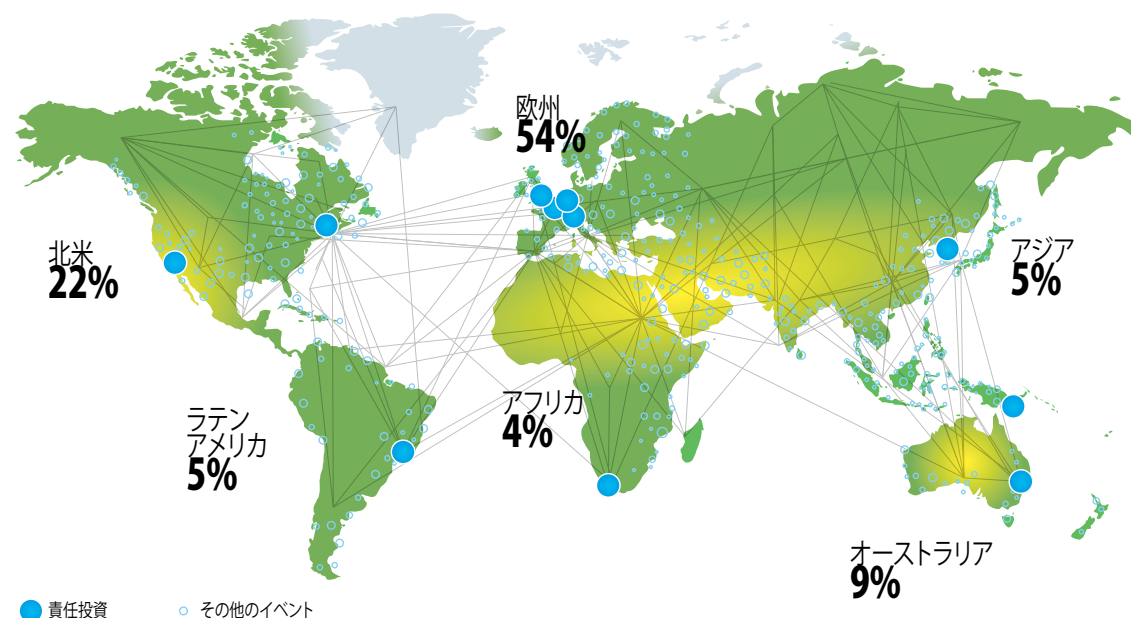
責任投資のファンダメンタル 責任投資の本質的要素 強化された財務分析



1,000+
の加入者数

PRI署名機関のプレゼンスおよびPRIのイベント開催地

グローバルネットワーク



PRI in Person

開始は
2006年
一堂に会する機会

参加者数
4,000人
以上

参加者は
50カ国
以上から

代表するのは
1,000以上
の組織

持続可能な金融システムへの障壁に挑む

私達は以下を実行します。

- 長期的投資パフォーマンスに必要とされる、持続可能な金融システムを整備する上での主な障害に対処します。
- 長期的投資を促進するような金融システム構造への変更を推進します。
- 短期指向を生み出す金融システムにおける行動、慣習、インセンティブに的を絞ります。

責任投資原則のミッションからの抜粋
「経済効率性が高く、持続可能なグローバル金融システムは、長期的な価値を創出する上で不可欠です。」

持続可能な市場

長期的価値の創造には持続可能なグローバル金融システムが必要です

投資家が責任投資を完全に追求するには、投資家の活動の場におけるグローバル金融システムが持続可能である必要があります。2007～2008年の世界金融危機は、投資家が、依存する金融システムの安定性と持続可能性を保証する役割を担う必要があることの劇的な動かぬ証拠となりました。過剰なレバレッジ、複雑なデリバティブ取引や高速取引は、短期的に利益を得られる場合があるかもしれませんが、全体としてのシステムの復元力を弱体化させます。

金融システムは、個々の投資家、組織、政府が将来の使用のために安心して資産を保管できるようにすべきであり、その一方で、そのような資産が責任をもって生産的に活用されるように、持続可能な経済発展を支援すべきです。

私達は、受益者、投資家、投資家のアドバイザーやサービスプロバイダー、企業や発行体、証券取引所、規制監督機関など、違いをもたらすことのできる分野に働きかけ、金融システムを改革し続ける環境、社会、技術、経済、政治の各トレンドをモニタリングしながら活動を行います。

私達は金融システム（持続可能性への脅威を含んでいる可能性のあるシステム）の30を超える側面を署名機関に説明し、私達が対処すべき9つの優先領域を示しました。



投資目標



受益者の利益



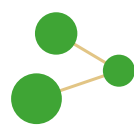
政策立案



政策提言



アドバイザーの役割
= エージェント



プリンシパル
関係



文化



インセンティブ



投資家の
慣習

市場に意味のあるデータを普及させる

私達は以下を実行します。

- グローバルに比較可能で、将来を見据えた、意味のある企業開示および投資家の報告を提唱します。
- 重大なESG情報をその他の財務データと共に含めることを推進します。
- 報告基準と運営体制の統合を推奨します。
- 利用可能なデータが効果的に使用されていない状況を理解し、克服に努めます。
- 実社会における具体的なESGの改善における責任投資の貢献度を測定できるようなPRI報告フレームワークを開発します。
- PRIデータポータルを強化し、資産運用者の責任投資活動をアセット・オーナーが評価できるようにします。

原則3

「私達は、投資対象の主体に対してESG課題について適切な開示を求めます。」

持続可能な市場

優れた意思決定には優れたデータが必要です

信頼のおけるタイムリーな情報は、受益者が自身の投資について理解しそれに影響を与えるために、また、アセット・オーナーが運用会社をモニタリングするために、そして資産運用者が資産に適切な価格を付けリスクを評価するために必要です。これに重大なESG課題に関する情報を含めることは責任投資のフアンダメンタルですが、企業がどのESGデータを開示すべきか、また、投資家が何をどのように報告すべきかについては意見が分かれており、分析を困難にしています。

受益者とアセット・オーナーの需要の変化に伴い、資産運用者は、検討した資産プールに適用したスクリーニングと、重大なESG課題を分析にどのように統合しているかについて、情報を共有する必要性がますます高まるでしょう。アセット・オーナーと資産運用者は共に、投資の意思決定が実世界にどのような影響を与えているのか、より具体的に示す必要が出てきます。



約13,000の組織

が自発的に企業責任レポートを作成

大手情報提供業者が何千社ものESGデータを追跡

証券取引所

12	ESGの開示要件を上場規則に組み入れている証券取引所	▲
15	発行体に正式なガイダンスを提供する証券取引所	▲
23	持続可能な証券取引所イニシアティブの結果、ESGの報告ガイダンスの導入に尽力している証券取引所	▲

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

気候/持続可能性に関して

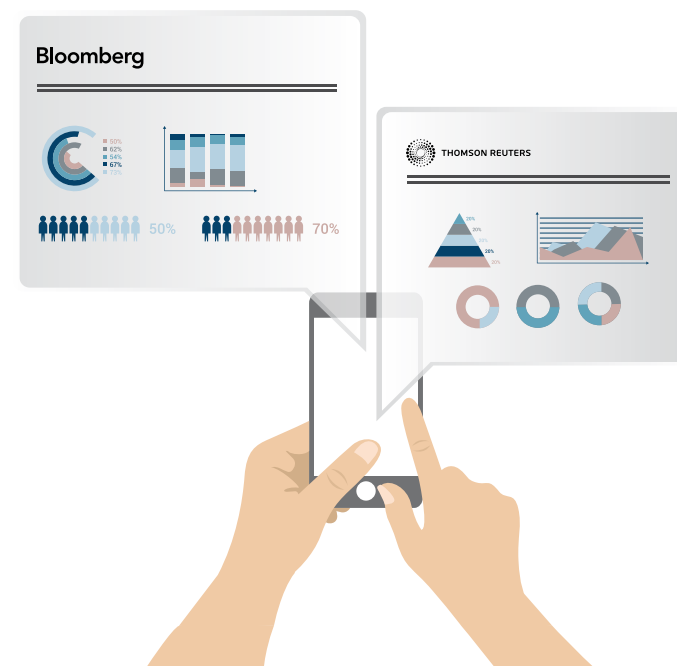
400

以上の基準があります

2016年

1,000以上の署名機関

が6つの原則導入に関する進捗状況を公表しました



気候変動に対する対策を推進する

PRIの署名機関満足度アンケート調査において、署名機関はESG課題の最優先事項として気候変動を繰り返し挙げています

私達は以下を実行します。

- 国連パートナーと協力してパリ協定を遵守します。
- 企業や発行体、およびそれらのポートフォリオについて、低炭素経済への適切な移行がどの程度可能な状況にあるかを投資家が評価できるようにします。
- PRI報告フレームワークを金融安定理事会の「気候変動関連の財務情報開示に関するタスクフォース」。
- 気候のリスクと機会に関して、投資家に企業とのエンゲージメントを呼びかけます。
- クリーンなアセットとテクノロジーに十分な資金配分を行うよう投資家に推奨します。
- 各国政府の気候変動目標が投資に与える影響を実証します。
- 政策立案者と協力し、投資家がクリーン投資の規模拡大の際に直面する障壁に対処します。



すべての人々の
真の豊かな世界

気候変動は投資家が直面している最優先ESG 課題です

パリ協定（産業革命前からの世界の平均気温上昇を2℃より十分低く保ち、1.5℃を目標とする）に従い地球温暖化が緩和されることは、署名機関の利益となります。これが投資活動にどのような意味をもつか投資家の解釈は様々ですが、ポートフォリオをリスクから保護すると同時に、グローバルな低炭素経済への移行に伴う機会を獲得するには、意欲的な行動が必要です。

私達は引き続き国連パートナー（UNEP FIと国連グローバル・コンパクト）、既存の投資家イニシアティブに加え、以下をはじめとするネットワークと協働します。CDP、ポートフォリオ脱炭素連立、セリズ（CERES）/気候変動リスクに関する投資家ネットワーク、気候変動に関する機関投資家グループ、気候変動に関するオーストラリア/ニュージーランドの投資家グループ、気候変動に関するアジア・アフリカの投資家グループ

わずか
11%
のアセット・オーナー

しか資産配分戦略に気候変動を統合していません

たった
10%

の資産運用者

しか資産配分戦略に気候変動を統合していません

SDGsが実現される世界を目指す

私達は以下を実行します。

- 国連パートナーと協力し、UNEP FIのポジティブ・インパクト・ファイナンス原則および国連グローバル・インパクトの10原則などを活用し、持続可能な開発目標(SDGs)を実現します。
- SDGsに沿った投資活動を行えるよう、投資家のために手順を示し、ツールを開発します。
- SDGsを推進する広範なアクティブ・オーナーシップ通して、投資家が企業責任の強化を追求するよう奨励します。
- 実社会にポジティブな影響を与えるプロジェクトへの資本投入を推奨します。
- PRI報告フレームワークにSDGを導入します。
- 私達の活動をSDGsに照らして計画し、SDGへの私たちの寄与を報告します。
- SDGを支援する公共政策の奨励に政策立案者の関与を取り付けます。

原則への署名機関の声明からの抜粋
「これら原則を適用することで、投資家がより広範な社会の目的にさらに同調できるかもしれません。」

すべての人々の
真の豊かな世界

国連のSDGsに沿った持続可能な開発を推進し、今日私たちが暮らし未来へと伝える、より繁栄した世界を創造します

私達が、ミッションを完全に実現するためには、原則の採択が持続可能なグローバル金融システムに貢献し、最終的には現在のみならず将来の世代のために、人々が共に支え合う真の豊かな社会を創生できるものでなければなりません。私達が投資家に与える影響が意味を持つためには、それが私達の共有している実世界に対する彼らの持つ影響力に、企業を通して反映されなければなりません。

国連の17の持続可能な開発目標 (SDGs) とそのターゲットは、私たちが実世界のインパクトを測定する手段を提供しています。これにより、責任ある投資家は、自らの投資解決手法に気候変動、労働条件、広範な多様性といった課題を組み入れる努力が、どのように持続可能な開発に寄与しているのか実証する機会を得ています。

SDGsは、政府の意思決定と企業行動が今後15年の世界経済の発展の仕方にどのように影響するかについても、明確なビジョンを投資家に提供します。政策立案者の優先事項を設定することで、SDGsは世界のGDP成長の主要な推進力となり、投資機会の源泉となります。



国連パートナーとの協働

国連グローバル・コンパクトの10原則を組み入れることにより、企業は人権、労働、環境、汚職防止の各分野での基本的責任を果たします。

UNEP FIのポジティブ・影響・ファイナンス原則は、持続可能な開発の財源にフレームワークを提供します。

80%以上 の機関投資家



が投資先企業をSDGsに関与させる予定であり、目標を支援する投資に資金を配分しています

“ 投資家は持続可能な開発目標の達成に中心的役割を果たすことができます ”

ShareAction、2016年3月

成功を測定する

私達は以下を実行します。

- 向こう10年間の目標に対する進捗状況を計測する際は透明性を保ちます。
- このビジョンを支える3か年戦略の中で、進捗を測定する主要業績指標 (KPI) の概要をまとめます。
- ブループリント (ビジョン) の全過程を通して、KPIに照らした年次報告を行います。
- 破壊的な技術進歩、市場ショック、規制環境の変化など、ブループリント (ビジョン) の展開過程で私達の取り組みに影響を与える変化を注視します。
- 署名機関の公表に伴い、私達も公表します。



PRIはここに提示されたビジョンに記載されている目標に向けて計測可能な進歩を明示し、署名機関は原則の導入に向けて計測可能な進歩を明示します

このビジョンの対象となる向こう10年(2017~2027年)で、責任ある投資家の行動、市場の本質、および私達が暮らす世界は、介入の有無を問わず変化します。ですから、私達の有効性を評価する最も有意な方法は、ブループリント・プログラム内で私達が開始する個々のプロジェクトに具体的かつタイムリーな尺度を作成することです。私達は次のような領域を網羅する尺度を見込んでいます。

PRI採用度—株主間

および非主流市場(PRI署名機関数に基づく)

SDGに向けた PRIの取り組み

全国データおよび国連データに基づく

SDGsに向けた 署名機関の寄与

資本移動データおよび企業責任データに基づく

金融システム の特徴

システム分析および署名機関による推奨事項の導入に基づく

責任投資の深度および幅

組織全体(責任投資原則報告フレームワークのデータに基づく)

アセット・オーナーの評価

投資運用者の能力について(責任投資原則データポータルのデータに基づく)

気候変動に関して企業および政策立案者と関与している投資家

PRI報告フレームワークのデータに基づく

議決権代理行使と責任投資方針との同調

PRI報告フレームワークのデータおよび公表されているデータに基づく

クリーンなアセットおよびテクノロジーへの投資家支援

資本移動データに基づく

ESG報告の質および量

PRI報告フレームワークのデータに基づく

エンゲージメント活動

PRI報告フレームワークのデータおよびPRIコーポレーションポータルのデータに基づく

投資家のESG報告の質

PRI報告フレームワークのデータに基づく

責任投資トレーニングの採用

全国データおよび国連データに基づく

企業のESG報告の質および量

持続可能な証券取引所データおよび公表されているデータに基づく

設定した目標の達成を目指し、ブループリント・プログラム内で開始した作業を具体化するために、私達は署名機関をはじめとする皆様からのご意見・情報を引き続き歓迎いたします。これらの目標に向けた進歩は、署名機関の行動にかかっています。



Principles for Responsible Investment

5th Floor, 25 Camperdown Street,
London, E1 8DZ, UK
電話: +44 (0) 20 3714 3141

PRI Association (Hong Kong) Limited

Level 9 Central Building, 1-3 Pedder Street,
Central Hong Kong
電話: +852 3958 2946

PRI US, Inc.

45 Rockefeller Plaza, Suite 2000
New York, NY 10111
電話: +212 332 3437

info@unpri.org - www.unpri.org



PRIは国連環境計画・金融イニシアティブおよび国連グローバル・コンパクトとパートナーシップを結んだ投資家イニシアティブです